



# 21世紀保育ブックス

これからの保育はどの方向へと向かっていくのか。

新しい21世紀の保育を展望しながら必要とされる諸問題を根本的に掘り起こし、確実に保育者を導き育て、将来の保育への指針を与える新シリーズ！

好評発売中

編集委員 森上史朗（子どもと保育総合研究所代表）  
柴崎正行（東京家政大学教授）  
柏女靈峰（淑徳大学教授）



21世紀保育ブックス⑥

## 保育者の「出番」を考える

今、求められる保育者の役割

吉村真理子 前・東雲短期大学

平成10年に改訂された「幼稚園教育要領」においても「保育者の役割」が強調されています。保育とは、基本的には子どもとのかかわりであり、よりよいかかわりを築いていくために、その質や方法を考えていくのが保育者としての自己研鑽の課題とも言えるでしょう。本書では、保育の世界を演劇の世界になぞらえ、保育という舞台のさまざまな場面における保育者の「出番」について、具体的な実践例をあげながら考えてみました。

B6判 176頁 定価：本体1,200円+税



21世紀保育ブックス⑦

## 地方自治体の保育への取り組み

今後の保育サービス提供の視点

山本真実 淑徳大学 尾木まり 子どもの領域研究所

さまざまな社会の変化を受けて、保育ニーズや保育サービスもますます多様化しています。新しい時代の保育サービスの考え方や方向性が打ち出されていますが、それらを実際に具現化し、利用者に対峙していくのは、サービスの実施主体である市区町村だとと言えます。エンゼルプランの策定後、各地方自治体の取り組みが本格的になりましたが、本書ではその経緯と現状を追いながら、これから保育と保育サービス提供の視点について考えていきたいと思います。

B6判 180頁 定価：本体1,200円+税

既刊本	① 新しい教育要領・保育指針のすべて	森上史朗 著
	② 新時代の保育サービス	柏女靈峰・山本真実 共著
	③ カウンセリングマインドの探究	柴崎正行・田代和美 共著
	④ 子ども虐待の理解と対応	庄司順一 著
	⑤ 知的好奇心を育てる保育	無藤 隆 著

<以下続刊>

キンダーブックの  
**フレーベル館**